Colorful friend´s

人の体を触ってしまう

男女どちらも触る

女の人だけを触る

触ることを恥ずかしいことだと認識して

いない

いる

『手立て』

・「もうお兄さんだから人を触ることは恥ずかしいよ。」と伝え続けながら、物理的に離して触る機会を減らす。また、集中を逸らす。(『いけないこと』の認識は簡単だが、『恥ずかしい』の感情を抱くにはある程度の成長が必要なため。)

・『よいことよくないこと』『恥ずかしいこと恥ずかしくないこと』を学べるような療育を行なう。(カラフレでもできます！)

・人を触りたくなったときや、暇なときに握れるようなグッズを身に着ける。

・触ることを我慢している様子が見られたら、大げさに褒める。

『考えられること』

・性の目覚め(発達障がいのお子さんは目覚めが早いと言われています。)

・どうしてか分からないけれど、触りたくなってしまう。

『伝えること』

・女の人の体は触ってはいけない。また、手を伸ばしても届かない距離にいるようにする。(腕 1 本分の大人の距離)

・自分の体は自由に触って OK！ただし、水着で隠すところは一人でいるときだけ。

・人の水着で隠すところは見たり触ったりしてはいけない。

ズボンの中を触ったり、動画を観たりして

いる

いない

『手立て』

・マスターベーションのマナーを教える。(男性が好ましい。難しい場合は本でも可。)

『手立て』

・マスターベーションについて教える人や本を決めておく。その時がきたら教えてもらう。

『カラフレの考え／関わり方』

・性の目覚めは女の子でいう初潮のような成長だと捉えています。避けるべきことではなく誰かがしっかりと教えるべきことです。

・手立てが決まったらご家庭と学校、放デイや習い事で関わり方や声かけを統一するように共有しています。(一つの環境だけで実行すると『触ること自体がいけない』と認識するのではなく、『ここでは触ってよい、あちらではダメ』と認識してしまうからです。)

・「○○って知っている？」などの性的な発言が見られたときには話を逸らしてしまいがちですが、しっかりと向き合うようにしています。動揺せず当然かのように「知ってる知ってる！でも人前で言ったら恥ずかしい言葉だよ、聞いた人は嫌な気持ちになるよ。」「そう思うことは悪いことではないけれど、1 人でいるときに考えることだよ。」などと声かけをしています。注意するというよりは、寄り添ってアドバイスをするような感じです。(悪いことではなく、しっかりと理解を深めるべきことだからです)

・女性は特に、男の子の性の目覚めを受け入れることが難しいと思います。『高校生くらいまでは、1 日を通して 9 割はそのようなことを考えているものだ』と認識しておくと、気が楽かもしれません。